

# 2019年度 事業報告書

## 日本河川・流域再生ネットワーク

自 2019年4月1日  
至 2020年3月31日

日本河川・流域再生ネットワーク(JRRN)は、川づくりについて共に考え、次の行動へ後押しする未来志向の情報を交換・共有することを通じ、各地域に相応しい川づくりの技術や仕組みづくりの発展に寄与することを目指して活動しております。また、アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の日本窓口として、中国や韓国など ARRN 会員や海外関係機関との連携を通じ、日本の優れた知見を海外に向けて発信し、同時に海外の素晴らしい取組みを日本国内に還元する役割を担っております。

2019年度は、川づくりに関わる情報共有基盤の整備、川づくりの担い手の育成に向けた普及・啓発や協働・支援、国際的な技術交流に取り組みました。また、会員に関しては、団体会員は 60 団体、個人会員は 800 人となりました。

## 1. 2019年度実施事業

### 【1】 川づくりに関わる情報共有基盤整備

国内外の川づくりに関連する報道ニュース、行事情報、活動事例、新刊案内、行政ニュース等について、ウェブサイト、facebook、YouTube ページ、ニュースメール、ニュースレター等を通じて広く社会に発信し、情報循環に努めました。また、JRRN 会員や海外連携機関（ARRN 会員組織、英国河川再生センター、欧州河川再生センター等）からの川づくりに関わる各種提供情報の共有を図りました。

2019年度 JRRN 情報媒体の活動実績 ※( )は前年度

| JRRN 情報媒体 | 頻度   | 合計            |
|-----------|------|---------------|
| ウェブサイト    | 随時   | 242 件 (284 件) |
| facebook  | 随時   | 234 件 (249 件) |
| ニュースメール   | 毎週配信 | 50 回 (51 回)   |
| ニュースレター   | 毎月発行 | 12 回(12 回)    |

また、「小さな自然再生」研究会の幹事として「水辺の小さな自然再生ウェブサイト」及び「水辺の小さな自然再生 facebook」の運営管理を担い、水辺でできる小さな自然再生に関わる情報共有を推進しました。加えて、ARRN ウェブサイトの運営・管理を担い、ARRN 活動成果やアジアにおける川づくりに関わる情報の普及に努めました。

## 【2】川づくりの担い手の育成及び協働・支援

川づくりの普及・啓発と人材育成を目的とした行事を企画・運営し、また全国の川づくり団体が取り組む活動の協働・支援を担いました。

### (1)「桜のある水辺風景 2019」写真公募と写真集制作・普及

水辺がつくる美しい景観の未来への継承を目的として、2019年に撮影された「桜のある水辺写真」を一般より募集し、37名・71点の作品を応募頂きました。応募作品は写真集としてとりまとめウェブサイトで公表しました。

### (2)水辺でできる「小さな自然再生」の全国普及 《河川基金助成事業》

2014年度に発行した「水辺の小さな自然再生事例集」の続編として、全国の河川や水路における小さな自然再生の担い手の方々に協力頂き、最新の知見や新規14事例を盛り込んだ「水辺の小さな自然再生事例集 第2集」を制作・発刊し、全国に普及しました。

### (3)川づくり団体との協働・支援

JRRN 会員を含む川づくりに関わる諸団体が取り組む下記の公益活動に対し、企画や行事開催、広報等の支援や協働活動を担いました。

国内の主な協働実績

| 年月      | 団体名等                     | 協働内容                        |
|---------|--------------------------|-----------------------------|
| 通年      | JRRN 会員を含む川づくり団体         | 行事案内や刊行物の広報等<br>(合計 43 件)   |
| 通年      | 水の巡回展ネットワーク(jawanet)     | 「雨展」企画・運営協力                 |
| 通年      | 応用生態工学会                  | 委員会活動協働、応用生態工学会<br>札幌主催行事協力 |
| 2019年5月 | 秋田県建設部河川砂防課              | 「多自然川づくり iRIC 研修」企画運<br>営協力 |
| 2019年6月 | 隅田川流域クリーンキャンペーン実行委員<br>会 | 「隅田川クリーン大作戦」企画運営<br>協力      |

## 【3】川づくりの国際的な技術交流

アジア河川・流域再生ネットワーク(ARRN)の事務局及び日本窓口組織として、ARRN メンバーによる技術交流を目的に毎年開催する『水辺・流域再生国際フォーラム』を運営し、日本における川づくりの経験のアジアに向けた普及に努めました。また、川づくりに関わる海外政府機関や研究機関が主催する行事への参加、来日視察団との技術交流や研修を受け入れ、国内行政機関の協力を得ながら日本における川づくりの技術、施策、具体事例等の橋渡しを担いました。

国際的な技術交流実績

| 年月            | 団体名等                    | 交流内容                                |
|---------------|-------------------------|-------------------------------------|
| 2019年5月28日    | 香港特別行政区政府渠務署 (DSD)      | DSD 職員約 50 名を対象とした技術研修会参加（講演等）      |
| 2019年7月11-13日 | 香港大学社会科学院               | 「水の持続性に関する国際シンポジウム」参加（講演等）          |
| 2019年10月22日   | アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN) | 「第 16 回水辺・流域再生国際フォーラム」企画運営（豪州ブリスベン） |
| 2019年10月23日   | アジア河川・流域再生ネットワーク (ARRN) | 「第 14 回 ARRN 運営会議」企画運営（同上）          |
| 2019年12月4日    | 台湾台中市政府水利局及び逢甲大学水利発展中心  | 「河川再生」参加（講演等）、現地視察及び技術交流            |
| 2020年1月14-18日 | 香港特別行政区政府渠務署 (DSD)      | 高潮・洪水対策・河川環境改善に関わる現地視察及び技術交流        |
| 2020年2月1日     | 台北大学都市計画研究所             | 都市河川再生に関わる現地視察及び技術交流                |

## 2. 会員の入退会数及び現在の会員数

団体会員、個人会員の入退会数及び 2019 年度末現在の会員数は次表の通りです。

2019 年度 JRRN 会員の入会・退会状況

| 会員区分 | 2018 年度末 | 入会数 | 退会数 | 現在数 |
|------|----------|-----|-----|-----|
| 団体会員 | 60       | 0   | 0   | 60  |
| 個人会員 | 795      | 14  | 9   | 800 |

## 2019年度 収入・支出決算書

(2019年4月1日から2020年3月31日)

(収入)

〈単位:円〉

| 項目       | 予算額       | 決算額       | 増減     | 備考                        |
|----------|-----------|-----------|--------|---------------------------|
| ①前年度繰越金  | 722,226   | 722,226   | 0      |                           |
| ②助成金     | 1,000,000 | 1,000,000 | 0      | 河川基金助成事業(残金20万は2020年5月振込) |
| ③寄付金・謝金等 | 0         | 80,000    | 80,000 | 台湾講演謝金(2名分)               |
| ④預金利息    | 170       | 11        | △ 159  |                           |
| 計        | 1,722,396 | 1,802,237 | 79,841 |                           |

(支出)

〈単位:円〉

| 項目      | 予算額       | 決算額       | 増減        | 備考                     |
|---------|-----------|-----------|-----------|------------------------|
| ①旅費・交通費 | 140,000   | 192,899   | 52,899    | 国内外学会参加、助成事業打合、海外視察支援等 |
| ②通信・運搬費 | 20,000    | 45,284    | 25,284    | サーバー契約費等(過年度未払分含)      |
| ③資料・印刷費 | 480,000   | 598,500   | 118,500   | 事例集印刷・製本費、JRRNチラシ費     |
| ④賃貸料    | 0         | 0         | 0         |                        |
| ⑤委託費    | 350,000   | 0         | △ 350,000 |                        |
| ⑥諸謝金    | 0         | 361,320   | 361,320   | 事例集デザイン費(委託費から謝金に変更)   |
| ⑦消耗品費等  | 10,000    | 25,569    | 15,569    | 海外出張土産等                |
| ⑧来年度繰越金 | 722,396   | 578,665   | △ 143,731 |                        |
| 計       | 1,722,396 | 1,802,237 | 79,841    |                        |

※上記は助成金及び寄付金等に関わる収支のみを計上。

その他の事業に要する諸費用は、日本河川・流域再生ネットワークの事務局を運営する「公益財団法人リバーフロント研究所」の自主研究「河川再生の情報共有と協働の交流基盤構築に関する研究」より支出しました。